

## ごみ処理施設精密機能検査業務委託 仕様書

### 1 目 的

本業務は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第5条の規定に基づき、精密機能検査を実施することにより、施設の適正な運営のための資料を得ることを目的とする。

### 2 業務概要

- (1) 業 務 名 ごみ処理施設精密機能検査業務委託
- (2) 履行期間 契約締結日の翌日から令和8年1月30日
- (3) 履行場所 東金市外三市町環境クリーンセンター
- (4) 調査対象施設 調査対象施設は以下の施設とする。なお、詳細な仕様は別紙 各施設仕様のとおりである。

ア ごみ焼却施設：全連続燃焼式ストーカ形焼却炉（70 t／日×3炉）

※灰溶融施設及び粗大ごみ処理施設は休止中のため、調査対象施設からは除外する。

### 3 業務内容

本業務の内容は「一般廃棄物処理施設精密機能検査要領（昭和52年11月4日 環整第95号）」に基づき、施設の概要、運転管理実績、設備・装置等の状況等を調査し、これらの結果と維持管理基準および設計基準とを比較して、処理負荷および処理機能を検討するとともに、設備・装置・機器類の状況を検査し、必要な改善点を指摘することとする。また、各種検査結果については報告書として取りまとめ、発注者へ提出する。なお、ごみ質等の検査については発注者の測定した各種分析結果により、検査することとする。

### 4 資料の貸与

発注者が所有している資料で、本業務遂行上必要なものは、発注者の業務に差し支えない範囲で、受注者に貸与するものとする。なお、貸与された資料については、業務完了時に発注者に全て返却するものとする。

### 5 機密の保持

受注者は、本業務の遂行上知りえた事項については第三者に漏らしてはならない。

### 6 技術者等

受注者は本業務遂行にあたり、焼却施設の精密機能検査の実績のある者、または、焼却施設の建設工事や補修工事における施工管理等の実績のある者を担当技術者として派遣すること。

### 7 成果品

受注者は、業務完了に際し以下の成果品を提出すること。

- (1) 精密機能検査報告書 3部
- (2) 電子ファイル（CD又はDVD）1式

## 8 疑 義

本業務遂行上疑義が生じた事項については、必要に応じて両者協議のうえ決定するものとする。

## 別紙 各施設仕様

### 1 ごみ焼却施設

(1) 処理能力：210 t／24時間

(2) 計画ごみ質

ア ごみの種類：一般ごみ、粗大ごみ選別可燃物

イ 組成

ごみ組成	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
水分 (%)	57	41	26
可燃分 (%)	34	50	66
灰分 (%)	9	9	8
低位発熱量 (kcal/kg)	1,200	2,000	2,800
単位容積重量	0.33	0.25	0.17

(3) 炉数：70 t／日×3炉

(4) 稼働時間：1日当たり24時間

(5) 主要設備方式

ア 運転方式

本焼却施設は、1炉1系列式で構成し、定期修理時においては1炉のみ停止し、他の2炉は原則として常時運転する。

イ 設備方式

- ① 受入れ供給設備：ピット・アンド・クレーン方式
- ② 燃焼設備：全連続燃焼式ストーカ形焼却炉
- ③ 燃焼ガス冷却設備：水噴射ガス冷却方式
- ④ 排ガス処理設備：有害ガス除去装置＋バグフィルタ併用方式
- ⑤ 給水設備：水道水使用
- ⑥ 排水処理設備：凝集沈殿処理の後、再利用  
(ごみピット排水は、炉内噴霧高温酸化方式)
- ⑦ 余熱利用設備：温水供給
- ⑧ 通風設備：平衡通風方式
- ⑨ 灰出し設備：溶融＋ピット・アンド・クレーン方式

(6) 燃焼条件

ア 炉内温度（燃焼室出口温度）：800℃以上950℃以下

イ 煙突出口の一酸化炭素濃度：50 ppm以下（4時間平均）

ウ 炉出口排ガスの酸素濃度：6％以上

エ 焼却残渣熱灼減量：3％以下